
2019年3月期第2四半期決算(IFRS)説明会資料

2018/10/25

株式会社 日立ハイテクノロジーズ

執行役社長 宮崎 正啓

執行役専務 宇野 俊一

2019年3月期第2四半期決算(IFRS)説明会資料

- 1. 2019年3月期第2四半期(累計)業績ハイライト**
- 2. 2019年3月期業績予想**
- 3. 中期経営戦略進捗状況**
- 4. 補足資料**



1. 2019年3月期第2四半期(累計)業績ハイライト

(注)YY/MはYY年M月期を表しています。
(e):2018年7月公表値

2019年3月期第2四半期業績(累計)(ハイライト)

(億円)	19/3 2Q実績	前年同期比		前回予想比(e)	
		増減額	増減率	増減額	増減率
売上収益	3,631	+275	+8%	△69	△2%
調整後営業利益*1	358	+82	+30%	+48	+15%
EBIT*2	340	+69	+25%	+30	+10%
税引前利益	342	+70	+26%	+32	+10%
四半期利益*3	246	+44	+22%	+36	+17%
一株利益	178円54銭	+31円66銭		+25円84銭	
一株配当	45円00銭	+5円00銭		±0円00銭	

・実績レート: 1USD=110円、1EUR=130円

*1 調整後営業利益: 売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費の額を減算して算出した指標

*2 EBIT(Earnings Before Interest and Taxes): 税引前利益から受取利息及び支払利息を除外した数値

*3 四半期利益: 親会社株主に帰属する四半期利益

2019年3月期第2四半期業績(累計)(セグメント別)

(億円)	19/3 2Q実績		18/3 2Q実績		前年同期比		19/3 2Q予想 ^(e)	
	売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT
科学・医用 システム	983	133	876	97	+12%	+36	998	123
電子デバイス システム	802	208	701	178	+14%	+29	822	208
産業 システム	385	3	338	△9	+14%	+12	385	2
先端産業 部材	1,500	22	1,475	19	+2%	+3	1,495	19
全社合計	3,631	340	3,356	271	+8%	+69	3,700	310

* 全社合計にはセグメント間の内部取引の消去等が含まれています。

売上収益・EBIT 偏差説明（前年同期比）

売上収益（ 3,356億円 → 3,631億円 +275億円 ）

- 科学・医用システム： 医用分析装置のアジア市場向け販売増および顧客とのサプライチェーンにおける在庫調整の終了により108億円増収
- 電子デバイスシステム： 次世代先端プロセス投資およびメモリー量産投資向けに販売が好調に推移し101億円増収

EBIT（ 271億円 → 340億円 +69億円 ）

□ 売上収益と同様の理由により増益

2019年3月期第2四半期業績(累計)(財政状態計算書[要約])

2018年9月末(億円)

		18/3末比			18/3末比	
流動資産		5,103	+148	流動負債	2,030	△26
現金および現金同等物	2,101	+178	営業債務	1,244	△77	
営業債権	1,536	△57	その他	786	+52	
棚卸資産	1,242	+77	非流動負債	282	+8	
その他	224	△50	退職給付に係る負債	242	+10	
非流動資産	1,308	+30	その他	40	△2	
有形固定資産	761	+23	資本	4,100	+195	
無形資産	168	△2	親会社株主持分	4,094	+193	
その他	380	+9	非支配持分	6	+2	
資産合計	6,411	+178	負債および資本合計	6,411	+178	

- ・一株当たり親会社株主持分 2,976円81銭(18/3末比 +140円55銭)
- ・親会社株主持分比率: 63.9%

2019年3月期第2四半期業績(累計) (キャッシュ・フロー計算書〔要約〕)

(億円)	2Q累計期間		2Q累計期間
営業活動に関するキャッシュ・フロー	+248	財務活動に関するキャッシュ・フロー	△63
当期利益	+247	配当金の支払	△63
減価償却費	+63	その他	△0
運転資金	△77	換算差額	+18
法人所得税支払および還付	△75		
その他	+89		
投資活動に関するキャッシュ・フロー	△26		
有価証券および その他の金融資産の取得・売却	△3		
有形固定資産および 無形資産の取得・売却	△98		
その他	+75		
フリー・キャッシュ・フロー	+223		
		現金および現金同等物	2Q累計期間
		期首残高	+1,924
		増減額	+178
		期末残高	+2,101

2. 2019年3月期業績予想

(注)YY/MはYY年M月期を表しています。

(e1):2018年4月公表値

(e2):2018年10月公表値

科学・医用システム

バイオ・
メディカル
事業

- ・中国を中心としたアジア市場で、引き続き生化学・免疫分析装置の需要が堅調
- ・各国の医療費削減および競合他社の新製品発売により価格競争激化

科学
システム
事業

- ・電子顕微鏡:アジア市場で電子デバイス・材料メーカー向けの需要が拡大
- ・科学機器:二次電池やRoHS指令関連の需要が増加

電子デバイスシステム

ロジック

一部の先端プロセス投資が延伸したが、サーバー市場の需要拡大により投資継続の見込み

ファウンダリ

5nm開発投資および将来の量産投資に期待

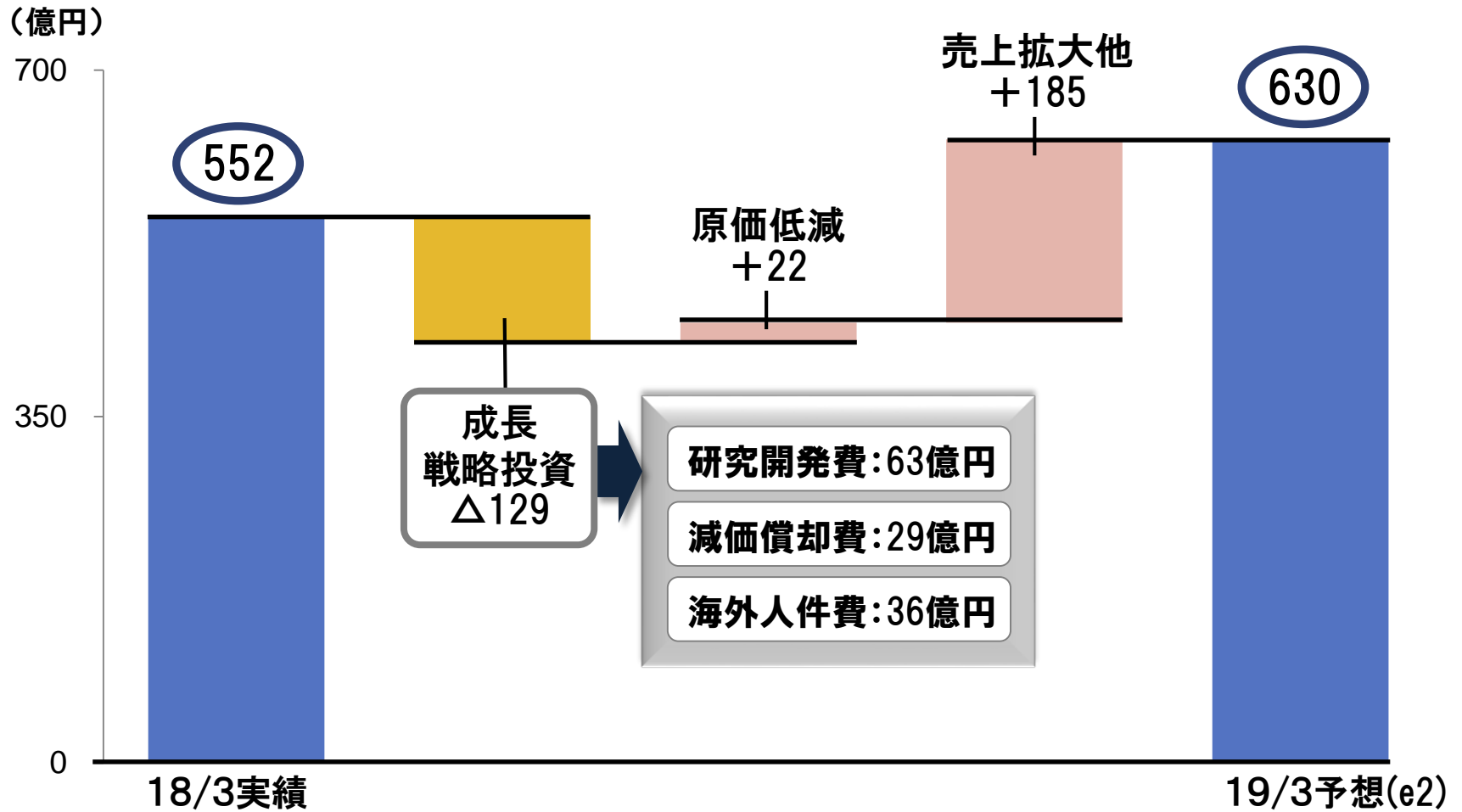
メモリー

3D-NANDおよびDRAM向けに一部投資が2019年度に延伸

2019年3月期業績予想(ハイライト)

(億円)	19/3予想(e2)	前期比		前回予想比(e1)	
		増減額	増減率	増減額	増減率
売上収益	7,500	+623	+9%	△300	△4%
調整後営業利益	630	+75	+13%	±0	±0%
EBIT	630	+78	+14%	±0	±0%
税引前利益	630	+74	+13%	±0	±0%
当期利益	450	+41	+10%	±0	±0%
一株利益	327円21銭	+29円94銭		±0円00銭	
一株配当	95円00銭	+10円00銭		±0円00銭	
ROE	11.1%	+0.1%		±0.0%	
FCF	+32	△130		±0	

2019年3月期業績予想(前期比増減要因:EBIT)

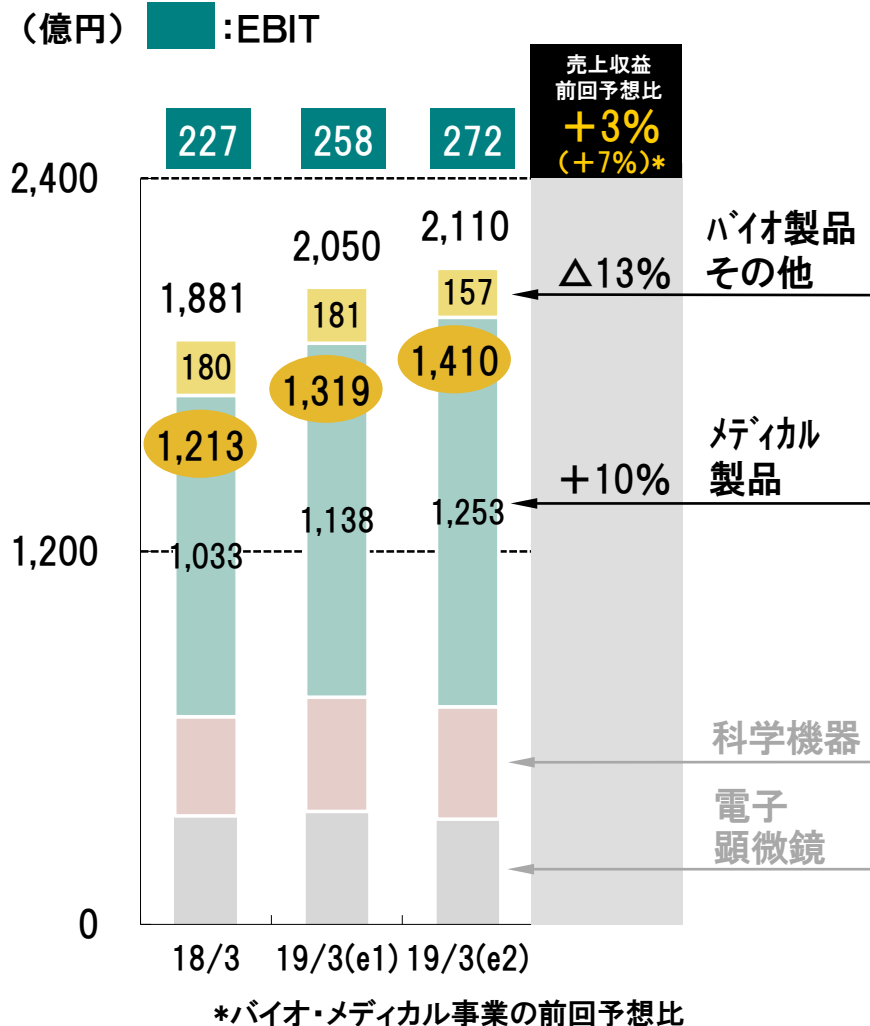


2019年3月期業績予想(セグメント別)

(億円)	19/3 予想 ^(e2)		18/3 実績		前期比		19/3 予想 ^(e1)	
	売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT
科学・医用 システム	2,110	272	1,881	227	+12%	+46	2,050	258
電子デバイス システム	1,484	340	1,357	317	+9%	+24	1,685	379
産業 システム	941	36	765	10	+23%	+26	1,000	35
先端産業 部材	3,080	50	2,943	37	+5%	+12	3,233	50
全社合計	7,500	630	6,877	552	+9%	+78	7,800	630

* 全社合計にはセグメント間の内部取引の消去等が含まれています。

売上収益・EBITの推移



今後の取り組み

- 新型免疫分析装置「cobas e801」の拡販継続
- バイオ分野向け新製品の販売立上げ
 - 小型CE*シーケンサ/遺伝子検査装置 他
- 高精度がん診断分野における新規事業開拓
 - 米国 MagArray社/OmniSeq社との協業推進



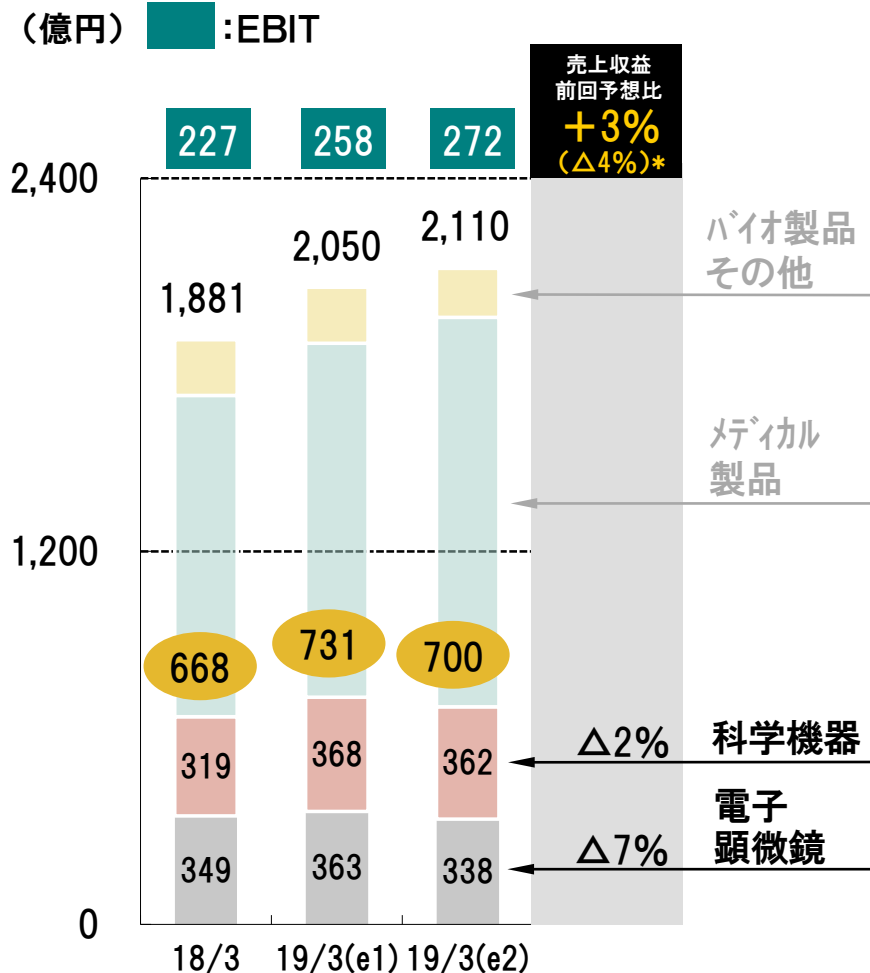
生化学・免疫統合型自動分析装置
「cobas8000」用
高速免疫モジュール「e801」



小型CEシーケンサ
(完成品イメージ)

*CE(Capillary Electrophoresis): キャピラリー電気泳動

売上収益・EBITの推移



*科学システム事業の前回予想比

今後の取り組み

成長分野へ向けた新製品の販売拡大

- SEM「SU7000」、FIB-SEM「Ethos NX5000」の拡販
- オンサイト分析が可能なハンドヘルド分析装置の国内販売開始

TSS*1の開発・拡販

- 二次電池検査用装置(蛍光X線異物解析装置等)
- RoHS II 対応向け新製品「HM1000A」

グローバル展開の加速

- グループシナジーによる科学機器の製造・販売力強化
- 日立ハイテクサイエンスパークでの顧客協創推進



超高分解能ショットキー
走査電子顕微鏡「SU7000」

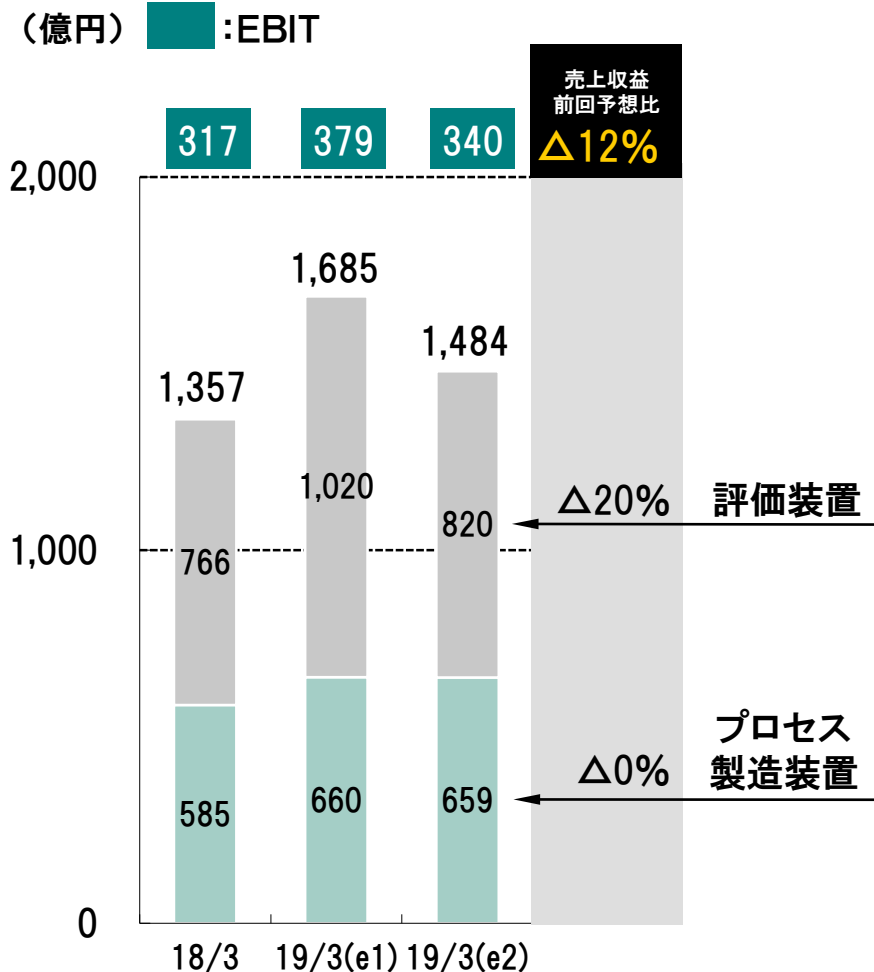


ハンドヘルドLIBS*2分析装置
「VULCANシリーズ」

*1 TSS(Targeted Solution System):高付加価値専用機

*2 LIBS(Laser Induced Breakdown Spectroscopy):
レーザー誘起ブレイクダウン発光分光計

売上収益・EBITの推移



今後の取り組み

- 多様化するニーズに対応する
製品ポートフォリオの強化
 - ・ EUVプロセスに対応した開発の推進
 - ・ エッチング装置/測長SEM/外観検査装置連携によるソリューション拡充
- グローバルな開発環境の整備
 - ・ 積極的なR&D投資の実施(2017年度比 +26%)
 - ・ 海外エンジニアリングサイトにおける開発人員増強
 - ・ 筑波大学との共同研究事業の推進



コンダクター
エッチング装置
9000シリーズ



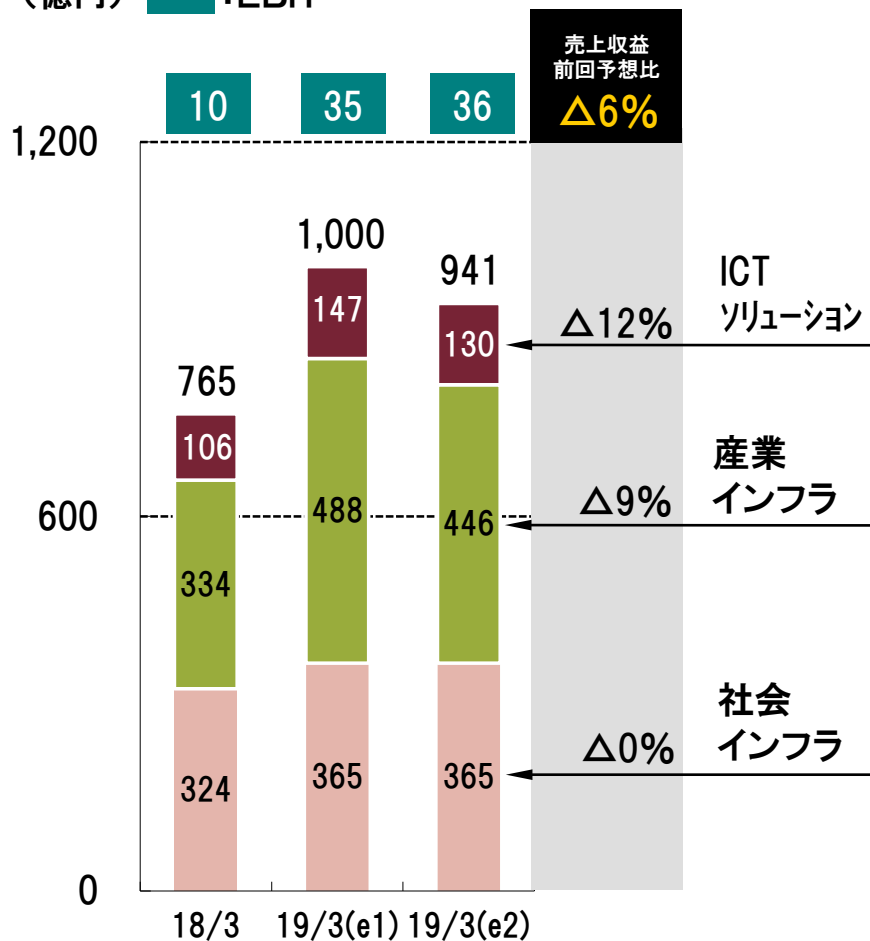
高分解能CD-SEM
CG6300



ウェーハ表面
検査装置
LSシリーズ

売上収益・EBITの推移

(億円) ■:EBIT



今後の取り組み

社会インフラ

鉄道検測

製品ラインアップの拡充

計装

計装制御とビッグデータ解析による高度運転支援の推進

産業インフラ

自動組立

二次電池製造装置の拡販

薄膜

フレキシブルデバイスにおける新製造システムの開発推進

ICTソリューション

IoT

製造業の課題解決ソリューション事業の立ち上げ

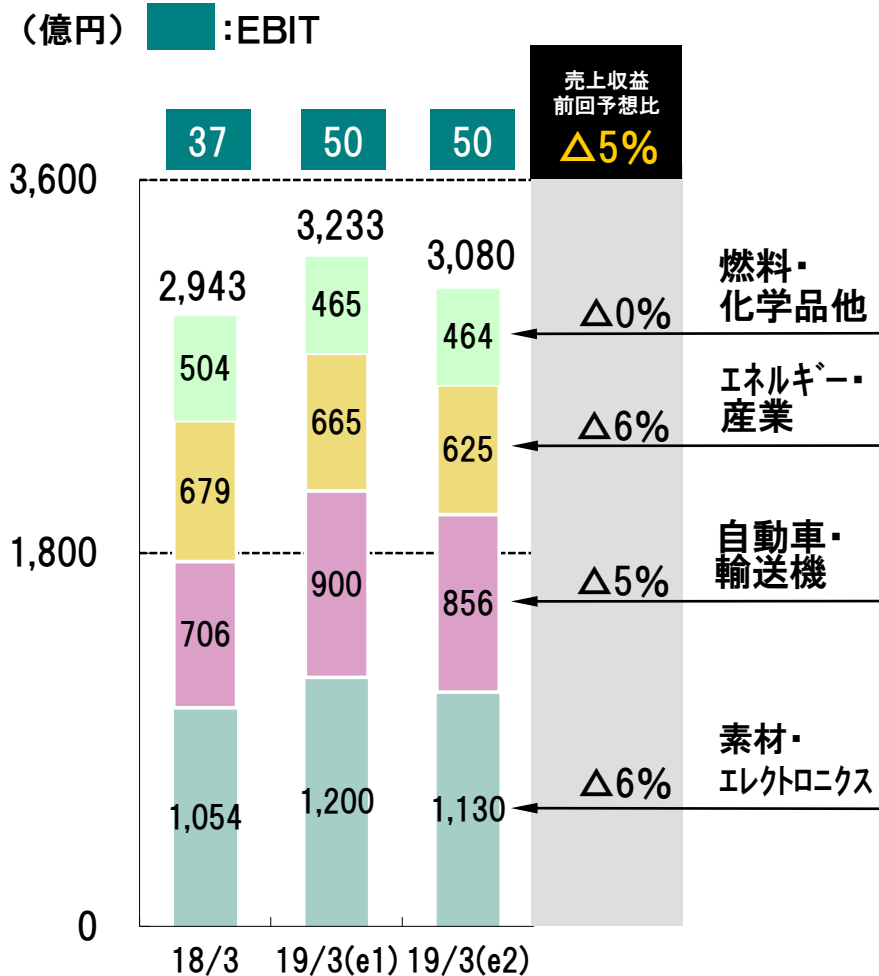


総合計装システム



予兆・診断システム

売上収益・EBITの推移



今後の取り組み

- 鉄道関連事業**
 - 中国内装メーカーとの合併会社を設立し、輸送機・建機メーカーへの拡販を開始
- シェア工場サービス**
 - シェア工場運営会社を設立し、海外へ進出する日系企業に各種サービスの提供を開始
- 研究開発の評価業務受託サービス**
 - JTL社*と代理店契約を締結
 - 分析・解析装置の提供による高品質なサービスの開始



JTL社での評価業務の様子



3. 中期経営戦略進捗状況

(注)YY/MはYY年M月期を表しています。
(e2):2018年10月公表値

中期経営戦略進捗状況(まとめ)

売上収益 市場の伸びを上回る成長の実現
(事業毎の売上収益CAGR > 市場成長率)

2015-18年度 CAGR	市場	当社予想(e2)
生化学・免疫検査	*1 4%	6%
科学機器	4%	5%
半導体前工程装置	*2 19%	13%

*1 装置・試薬合計 *2 CY

収益性 Instruments EBITマージン率10%超維持
Materials EBIT絶対額50億円以上

17/3 実績	18/3 実績	19/3 予想(e2)
13%	13%	14%
23億円	37億円	50億円

サービス比率 EBITに占めるサービス事業*3の割合
50%以上維持

57%	54%	55%
-----	-----	-----

*3 サービス事業: 製品保守サービス、ITソリューション、商事サービス等

研究開発 800億円 ・2013~15年度比30%増

・バイオ・メディカル事業を中心に投資額を増額 *4 833億円

設備投資 400億円 ・デモ設備等の拡張
・製造能力、生産技術力強化

・増産対応+自動化・IoT化の積極推進 *4 573億円

事業投資 300億円 ・バイオ・ヘルスケア、
社会・産業インフラ中心

・技術、販路、人財増強
・M&A、資本参加の実施 *5 178億円

*4 2016年度・2017年度実績および2018年度予想(e2)の累計

*5 2016年度・2017年度実績の累計

基本理念: ハイテクソリューションによる「価値創造」を基本とした
事業活動を通じ、社会の進歩発展に貢献する

社会から必要とされる企業

世界中のお客様から選ばれ続ける企業

社会からの要請

- ・持続可能な社会の形成
- ・社会課題の解決

日立ハイテクグループ

- ・培ってきた独自の強み
- ・事業領域、事業特性

事業を通じて取り組むべき重要課題(マテリアリティ)

持続可能な
地球環境への貢献



健康で安全、安心な
暮らしへの貢献



科学と産業の持続的
発展への貢献



健全な経営基盤の
確立



多様な人財の
育成と活用



4. 補足資料

(注)YY/MはYY年M月期を表しています。

(e1):2018年4月公表値

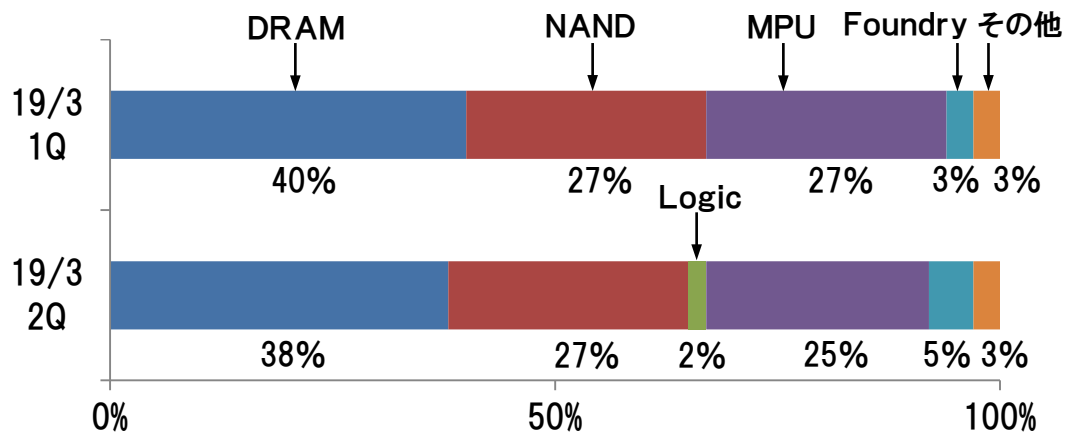
(e2):2018年10月公表値

受注高推移（実績）

		1Q	2Q	3Q	4Q	合計	(億円)
18/3	プロセス製造装置	91	109	185	206	591	
	評価装置	217	128	200	378	923	
	合計	308	237	385	584	1,514	
19/3	プロセス製造装置	138	166	—	—	304	
	評価装置	196	101	—	—	297	
	合計	334	267	—	—	601	

前工程装置 分野別売上収益比率（実績）

* 装置本体売上ベース



■設備投資額・減価償却費・研究開発費

(億円)

	18/3 1H	19/3 1H	前年 同期比	18/3	19/3 ^(e2)	前期比
設備投資額	72	101	+40%	157	272	+73%
減価償却費	57	63	+11%	118	147	+24%
研究開発費	126	148	+17%	267	330	+24%

(注)設備投資額は取得ベースにて記載

■地域別売上収益

(億円)

		日本	北米	欧州	アジア	中国大陸	その他	計
18/3 1H	売上収益	1,263	254	393	1,341	469	104	3,356
	構成比率	38%	7%	12%	40%	14%	3%	100%
19/3 1H	売上収益	1,335	279	468	1,383	463	166	3,631
	構成比率	37%	8%	13%	38%	13%	4%	100%

四半期業績の推移

(億円)		17年 1Q	17年 2Q	17年 3Q	17年 4Q	18年 1Q	18年 2Q	
売上収益 ／ EBIT	科学・医用システム	売上収益	397	478	424	581	473	510
		EBIT	45	52	52	77	71	62
	電子デバイスシステム	売上収益	381	321	281	374	357	445
		EBIT	114	64	54	84	89	118
	産業システム	売上収益	152	185	159	268	158	227
		EBIT	△9	0	△0	19	△3	6
	先端産業部材	売上収益	729	746	751	718	761	739
		EBIT	11	8	13	5	14	7
	その他・調整額	売上収益	△17	△17	△13	△22	△19	△20
		EBIT	△5	△9	△4	△20	△12	△14
	合計	売上収益	1,642	1,714	1,602	1,919	1,730	1,901
		EBIT	156	115	116	165	160	180
	税引前利益		157	116	117	167	161	181
	親会社株主に帰属する当期利益		117	85	90	117	106	140

主要製品群別売上収益の状況

	17年1Q	17年2Q	17年3Q	17年4Q	18年1Q	18年2Q
科学・医用システム	397	478	424	581	473	510
電子顕微鏡	70	88	68	124	58	93
科学機器	45	84	78	112	66	84
メディカル製品	242	256	232	302	319	297
バイオ製品その他	40	50	45	44	30	37
電子デバイスシステム	381	321	281	374	357	445
プロセス製造装置	160	158	125	142	175	172
評価装置	219	161	155	230	181	271
その他	2	1	1	2	1	1
産業システム *	152	185	159	268	158	227
社会インフラ	69	85	70	99	53	82
産業インフラ	61	75	66	133	80	113
ICTソリューション	22	25	23	35	25	32
先端産業部材 *	729	746	751	718	761	739
素材・エレクトロニクス	261	267	263	263	300	287
自動車・輸送機	167	171	186	183	201	198
エネルギー・産業	177	181	174	146	148	139
燃料・化学品他	124	127	128	126	112	115

* 「産業システム」「先端産業部材」は、2019年3月期よりサブセグメントの区分を変更しており、2018年3月期はリステート後の数値となります。

2019年3月期第2四半期決算(IFRS)説明会資料

お問合せ先

CSR本部 CSR・コーポレートコミュニケーション部 部長 桑原 満

TEL:03-3504-5138 FAX:03-3504-5943

E-mail:mitsuru.kuwabara.ya@hitachi-hightech.com

<資料取り扱い上の注意>

- ・本プレゼンテーションで述べられている決算概要および業績予想は、注記がある場合を除き、すべて連結であり、億円未満を四捨五入しています。
- ・当社が開示する将来の業績見通しや戦略等に関する予想は、開示時点で知りうる情報や合理的と思われる前提をもとに策定しており、さまざまな外部要因による直接的・間接的な影響により、実際の当社の業績等が開示内容と異なる可能性があります。但し、開示内容との間に大きな乖離がある場合は、法令や証券取引所が定める適時開示規則並びに当社の自主的な判断に基づき、その都度開示していきます。

また、この資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。